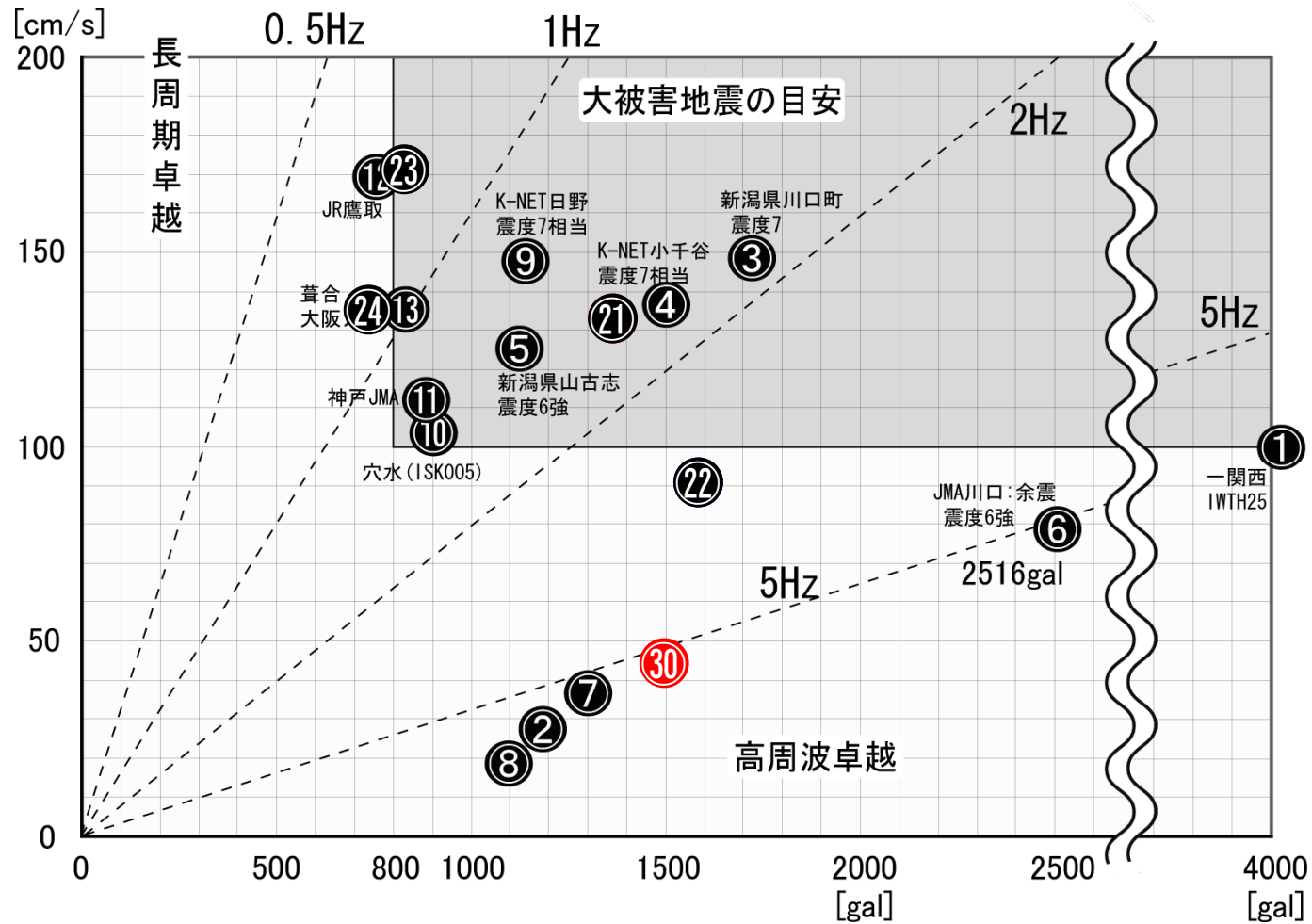


2016年10月21日鳥取県中部の地震：最大加速度と最大速度の関係（過去の地震との比較）



2008年岩手・宮城内陸地震(①KiK-net一関西: IWTH25)、2008年岩手県沿岸北部の地震(②KiK-net玉山: IWTH02)、2004年新潟県中越地震(③新潟県自治体震度計川口町、④K-NET小千谷: NIG019、⑤新潟県自治体震度計山古志村)、2004年新潟県中越地震最大余震(⑥新潟県自治体震度計川口町)、2003年宮城県沖地震(⑦KiK-net住田: IWTH04、⑧KiK-net陸前高田: IWTH27)、2000年鳥取県西部地震(⑨KiK-net日野: TTRH02)、2007年能登半島地震(⑩K-NET穴水: ISK005)、1995年兵庫県南部地震(⑪神戸海洋気象台(JMA)、⑫JR鷹取、⑬葦合(大阪ガス))、2016年熊本地震(KiK-net益城: KMMH16: ⑳Mj7.3, ㉑Mj6.5; 熊本県自治体震度計益城町: ㉒Mj7.3, ㉓Mj6.5)、㉔2016年鳥取県中部の地震(K-NET倉吉: TTR005)。
 グレーのハッチで示したのは最大速度が100cm/s以上かつ最大加速度が800gal以上の領域で、川瀬(1998)が提案した構造物に対し大きな被害がでる目安である。点線は、等価卓越周波数(最大加速度/最大速度/2π)が0.5, 1.0, 2, 5Hzである線を示す。

謝辞: 気象庁、JR、大阪ガス、新潟県及び新潟県自治体震度計、のデータを使用しました。記して感謝いたします。